



# 羽咋市復興個別計画

## 〔兵庫町地区〕

令和7年6月  
兵庫町・羽咋市

# 目 次

|   |                 |   |
|---|-----------------|---|
| 1 | 復興個別計画の概要       | 1 |
|   | （1）復興個別計画とは     | 1 |
|   | （2）復興個別計画の構成    | 1 |
| 2 | 地区の現状と課題        | 2 |
|   | （1）地区の現状        | 2 |
|   | （2）地区の被災状況及び課題  | 4 |
| 3 | 復興に向けた取組事項      | 5 |
|   | （1）地区の防災力向上     | 5 |
|   | （2）ハード面の機能強化等   | 6 |
|   | （3）将来を見据えたまちづくり | 6 |
| 4 | 各種インフラ復旧に向けた取組等 | 7 |
| 5 | 資料編             | 8 |
|   | （1）復興個別計画策定手順   | 8 |
|   | （2）ワークショップ実施概要  | 9 |

## 1 復興個別計画の概要

### （１）復興個別計画とは

令和６年１月１日午後４時１０分に発生した令和６年能登半島地震では、本市においても震度５強（※推定震度６弱）を観測し、市内各地で液状化や家屋の倒壊など甚大な被害を受け、未曾有の大災害となりました。

これを受け本市では、被災者の住まいとくらしの再建、被災地域の復旧・復興、地域経済の再建など、住民が希望と夢をもって安心して住み続けることができるよう、令和６年８月に“羽咋市復興計画”を策定し、各種取組を進めています。

しかしながら、大規模な液状化が発生し、インフラ（道路、上下水道等）に甚大な被害を受けた地区等においては、復旧までに長い期間を要し、「いつになったら元の生活に戻るのか」「このまま住み続けることができるのか」など、地区の将来の姿が見えず、依然として多くの住民の方が不安を抱えながら生活しています。

このため、地区の実情に応じた、将来にわたってお住まいの地区に住み続けるための将来展望や、この実現に向けた地区の防災力向上等の優先すべき取組、インフラの復旧スケジュール等を明確にした“復興個別計画”を策定し、住民・地区・行政で共有することで、地区の復興に向けた取組を進めるものです。

### （２）復興個別計画の構成

復興個別計画は、大きく「復興」と「復旧」に分け、取組事項等を整理します。

「復興」に関する内容は、令和６年能登半島地震を受けた地区の問題点・課題、これを踏まえた地区の将来像、この実現に向けた取組等について、地区住民が主体のワークショップで検討・協議した内容に基づき、整理します。なお、「復興」の取組については、住民・地区・行政が協働で取り組む必要があるため、下図に示す自助・共助・公助に分け整理します。

「復旧」に関する内容は、行政が実施する地区内の各種インフラ（道路・上下水道等）復旧の取組内容・位置及び実施スケジュールを整理します。

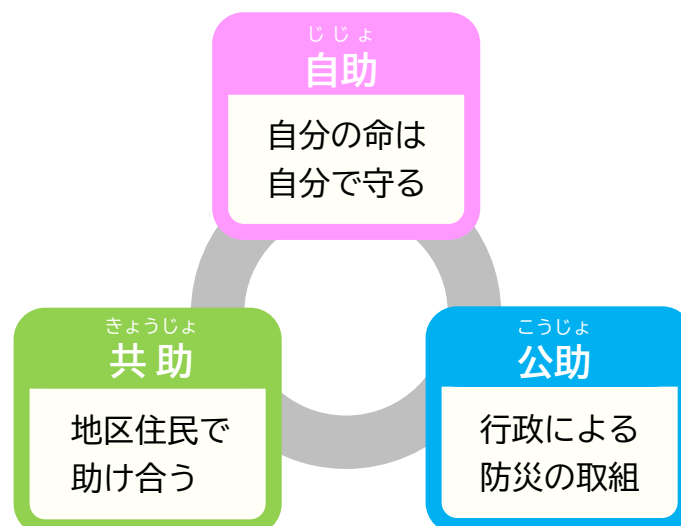


図 自助・共助・公助のイメージ図

## 2 地区の現状と課題

### (1) 地区の現状

#### 【概況】

兵庫町地区は、中心市街地の南部に位置し、地区の大半は、山林や水田、畑を中心とした農地です。

羽咋市の中心市街地と金沢市方面を連絡する国道 249 号のほか、国道 249 号と連絡する国道 415 号が幹線道路となっています。また、地区中央を南北方向に J R 七尾線が走るとともに、長者川が流れています。

地区内には、兵庫会館を有しています。また、地区内の避難所として「栗ノ保公民館(仮)※」、近隣の避難場所及び避難所として「栗ノ保小学校・運動場」「栗ノ保小学校・体育館」「御坊山児童公園」「勤労者総合福祉センター」があります。

※令和 6 年能登半島地震により、現在、栗ノ保公民館が使用不可となっているため、栗ノ保保育所を仮の公民館として使用中。



兵庫会館



#### 【人口及び世帯数】

兵庫町地区の総人口は 598 人、世帯数は 259 世帯となっています。

地区の老年人口割合は 37.8%となっており、市全域の老年人口割合(41.0%)を下回っています。また、年少人口割合(10.5%)、40～64 歳の生産年齢人口割合(33.1%)は、市全域の年少人口割合(8.8%)、40～64 歳の生産年齢人口割合(31.2%)よりも高くなっています。

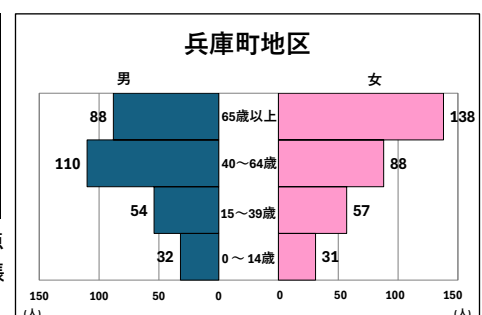
今後は、高齢化の進行が予測されることから、地区のコミュニティ活動の維持等が困難になることが推測されます。

表 兵庫町地区の人口(年齢 4 区分別割合)

|       | 年少人口   | 生産年齢人口  |         | 老年人口   |
|-------|--------|---------|---------|--------|
|       | 0～14 歳 | 15～39 歳 | 40～64 歳 | 65 歳以上 |
| 兵庫町地区 | 10.5%  | 18.6%   | 33.1%   | 37.8%  |
| 市全域   | 8.8%   | 19.0%   | 31.2%   | 41.0%  |

※令和 6 年 4 月 1 日時点

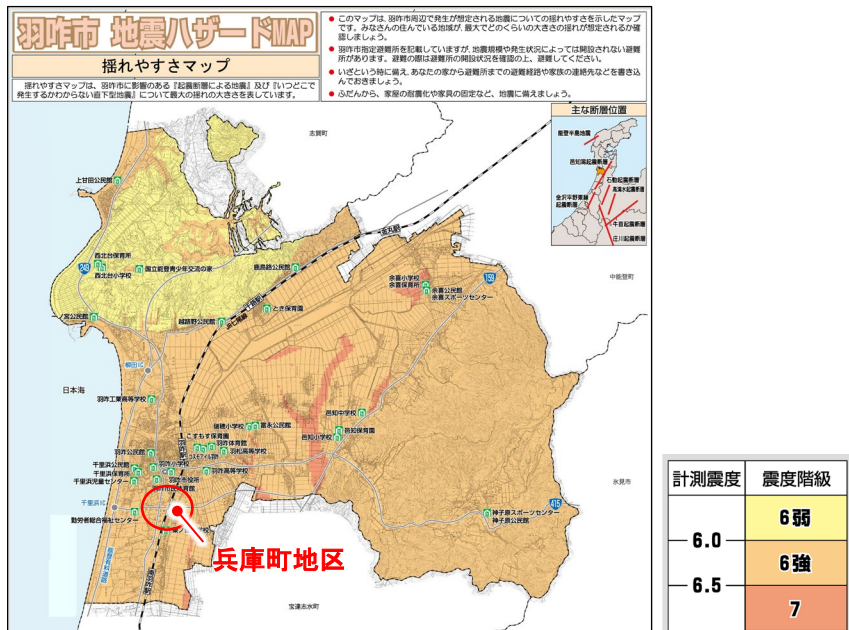
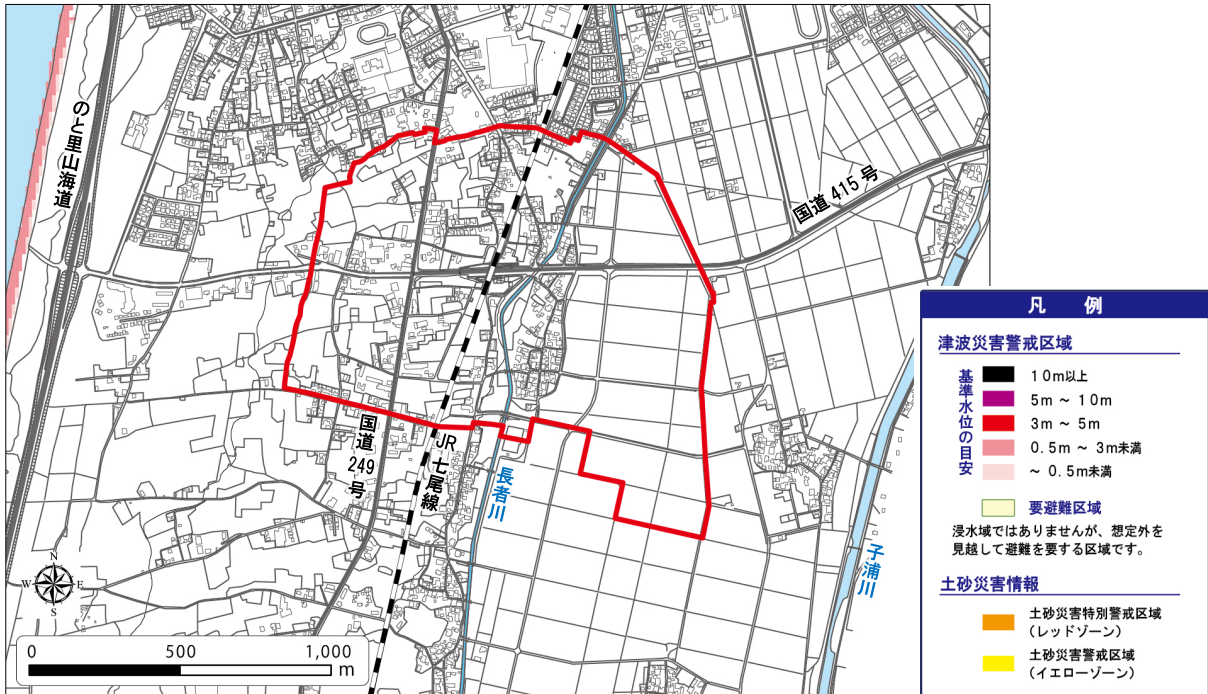
資料：住民基本台帳





【各種ハザードの指定状況】

兵庫町地区は、津波災害警戒区域及び土砂災害警戒区域の指定はありませんが、地震による地区の最大震度は6強が想定されています。



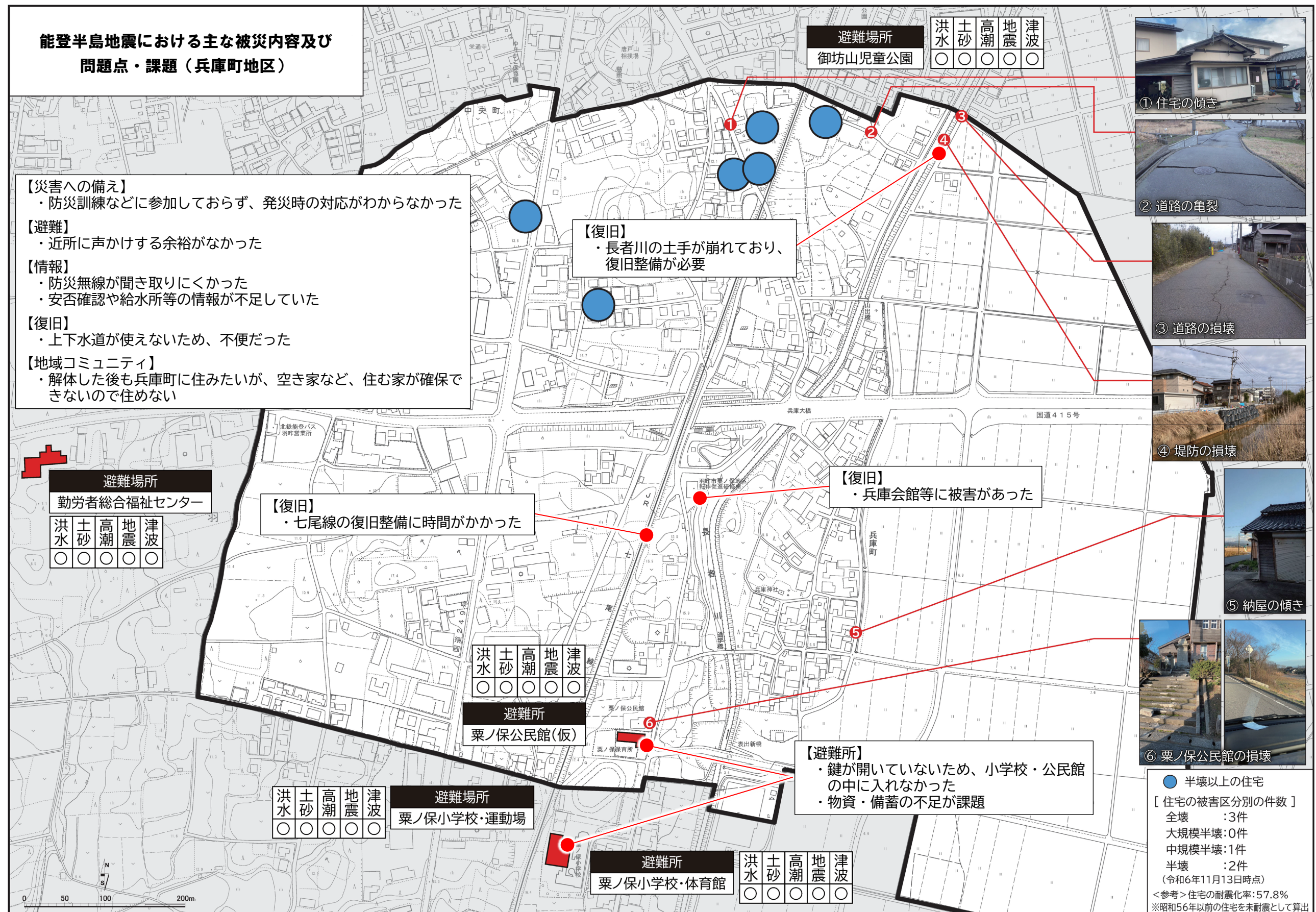
【耐震化率】

昭和 56 年以前の建物を未耐震として算出した場合（改修済みを除く）の兵庫町地区内における建物の耐震化率は、57.8%となっています。これは、全国平均の耐震化率（87.0%）を大きく下回っています。上記規模の地震が発生した場合、令和 6 年能登半島地震（震度 5 強）よりも甚大な被害となる可能性があります。



## (2) 地区の被災状況及び課題

令和7年1月に実施した「第1回 復興個別計画の作成に向けたワークショップ」でのご意見を踏まえた地区の被災状況及び問題点・課題は以下のとおりです。





### 3 復興に向けた取組事項

#### ＜地区の将来像＞

#### 声をかけあい、みんながつながる 楽しく安全・安心な兵庫町

日頃からの挨拶や声のかけあいなどによってコミュニケーションを強化するとともに、住民が連携して助け合いながら常に備えることにより、楽しく安全・安心して生活できるまちを目指します。

前頁の被災状況及び問題点・課題を踏まえ、“取組が必要な事項”“取組内容”“具体的な活動等”を自助・共助・公助ごとに設定します。

“取組内容”については、第2回ワークショップの検討結果に基づき、“◎：最重要取組事項”、“○：重要取組事項”として整理します。

#### （１）地区の防災力向上

##### 【自助】

| 取組が必要な事項 | 取組内容                   | 具体的な活動等                                                              |
|----------|------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 災害時の生活維持 | ◎災害時の物資等の不足に備えるための事前準備 | ◇飲料水・貯水用容器の事前準備<br>◇使い捨てトイレ、発電機等の事前準備<br>◇ローリングストック※による備蓄品の確保（最低3日分） |
| 災害時の生活維持 | ○災害時の断水に備えた備蓄品の事前準備    | ◇簡易トイレの備蓄                                                            |

※蓄える→食べる→補充することを繰り返しながら常に一定量の食品を備蓄する方法

##### 【共助】

| 取組が必要な事項      | 取組内容                           | 具体的な活動等                                    |
|---------------|--------------------------------|--------------------------------------------|
| 迅速・的確な避難行動    | ◎発災時の初動がスムーズに行えるように、避難に関する事前準備 | ◇栗ノ保地区・兵庫町における防災訓練の実施<br>◇班単位による災害時対応の事前確認 |
| 災害時の生活維持      | ◎災害時の物資等の不足に備えるための事前準備         | ◇備蓄品の定期確認（年1回）<br>◇発電機の備蓄                  |
| 災害時要支援者等の安否確認 | ◎災害時に安否確認等の情報を得るための事前準備        | ◇「結ネット※」の導入                                |

※自治会・町内会をはじめとする地域組織や各種団体の日々の活動・運営を支援するアプリであり、普段は回覧情報や連絡事項の提供ツールとして、災害時には安否確認ツールとして活用可能

【共助（つづき）】

| 取組が必要な事項   | 取組内容                 | 具体的な活動等                                                                         |
|------------|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 迅速・的確な避難行動 | ○災害時に助け合える近隣住民間の連携強化 | ◇近隣住民間における日頃からのコミュニケーション活性化<br>◇紙による連絡票の作成                                      |
| 自主避難所の環境改善 | ○兵庫会館の環境整備           | ◇不測の事態（兵庫会館の修繕、地区住民の避難生活に必要な物資の購入など）に柔軟に対応できる予備費の準備<br>◇兵庫会館の耐震化整備の検討（補助金の活用など） |

【公助】

| 取組が必要な事項     | 取組内容                 | 具体的な活動等                                     |
|--------------|----------------------|---------------------------------------------|
| 迅速な避難所の開設・運営 | ◎避難所を迅速に開設するための適切な管理 | ◇避難所の鍵の共有化（一定条件で解錠する鍵保管 BOX の設置）や解錠者の選任     |
| 迅速・的確な情報の発信  | ○誰もが確認しやすい防災情報の発信    | ◇羽咋市 LINE の周知<br>◇高齢者でも防災情報を確認しやすい代替システムの検討 |

（２）ハード面の機能強化等

【公助】

| 取組が必要な事項 | 取組内容                | 具体的な活動等                                     |
|----------|---------------------|---------------------------------------------|
| 避難所の環境改善 | ◎誰もが分かりやすい避難所の整備・管理 | ◇公民館の整備<br>◇避難所の一元化（地震や水害等の災害状況によらない避難所の特定） |
| 住環境の維持   | ◎七尾線や長者川の復旧整備       | ◇早期復旧に向けた関係機関への要望                           |

（３）将来を見据えたまちづくり

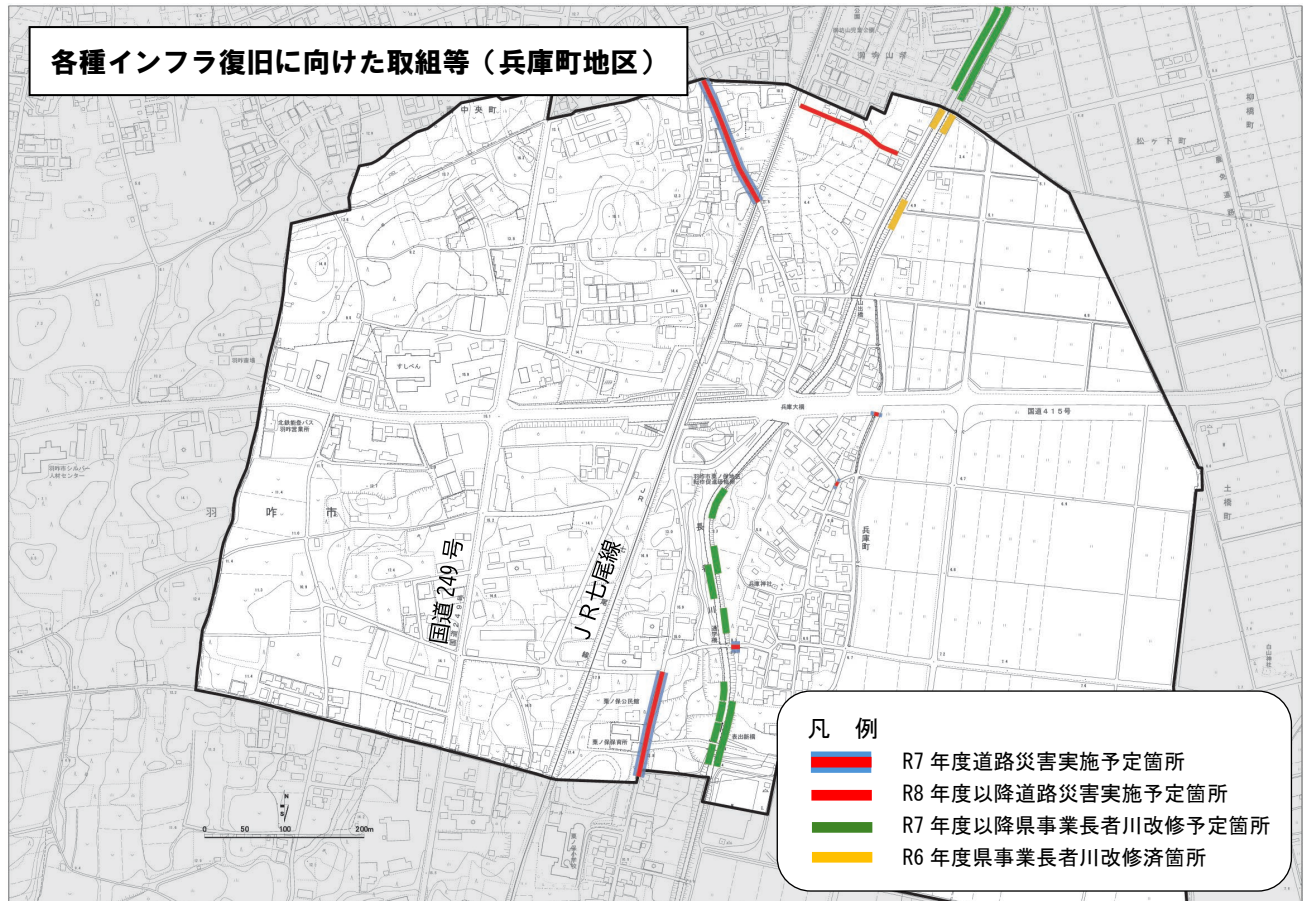
【共助】

| 取組が必要な事項 | 取組内容                      | 具体的な活動等                  |
|----------|---------------------------|--------------------------|
| 住環境の維持   | ○地区で暮らし続けるための環境整備（空き家の活用） | ◇町会による空き家情報の把握・羽咋市への情報提供 |

## 4 各種インフラ復旧に向けた取組等

行政が実施する地区内の各種インフラ（道路・上下水道等）復旧に向けた取組内容・位置及び実施スケジュールは以下のとおりです。

なお、取組内容等については、状況に応じて随時見直し・修正していきます。



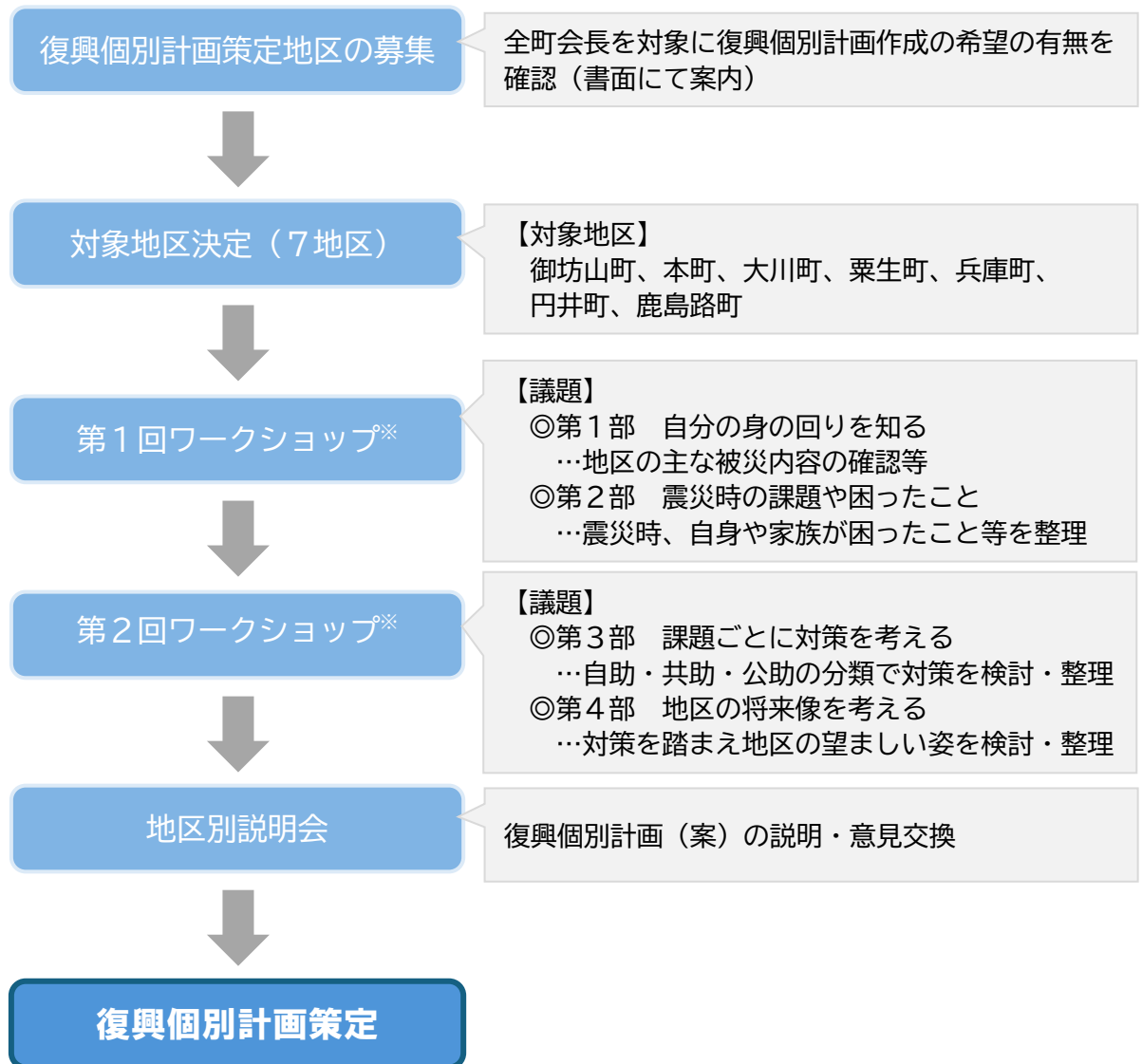
| 取組内容                            | R5年度（R6.1～）            | R6年度                 | R7年度          | R8年度～           |
|---------------------------------|------------------------|----------------------|---------------|-----------------|
| ① 公共災道路<br>公共災害復旧事業<br>（道路災 3件） | 被災状況調査                 | 国の災害査定 2件<br>（12月末済） |               |                 |
|                                 | 応急復旧工事<br>（主にアスファルト舗装） |                      | 測量・実施<br>設計   | 本復旧工事<br>（2件）   |
|                                 | 災害査定準備                 |                      |               | 本復旧工事予定<br>（1件） |
| ② 市単災道路<br>市単災害復旧事業<br>（道路災 3件） | 被災状況調査（下水道事業との調整）      | 測量・実施<br>設計          |               |                 |
|                                 | 応急復旧工事<br>（主にアスファルト舗装） |                      | 本復旧工事<br>（3件） | 復旧完了目標          |
| ③ 県事業                           |                        | 長者川改修<br>（3件）        | 長者川改修予定       |                 |

※上記記載の内容は現時点のものであり、R8 年度以降の工事の実施時期や工事箇所については、今後、町会長と情報共有しながら進めていきます。

## 5 資料編

### （１）復興個別計画策定手順

復興個別計画の策定は、以下の手順で実施しました。



#### ※ワークショップの概要・進め方

- 1グループあたり5名程度を基本に2～3グループで実施
- 各グループには市職員も配置
- テーマに応じて個人の意見等を付箋に書き出し、グループ内で意見交換をしながら共有・とりまとめ
- 各回、グループでのとりまとめ結果を代表者より発表し、意見を共有



## （２）ワークショップ実施概要

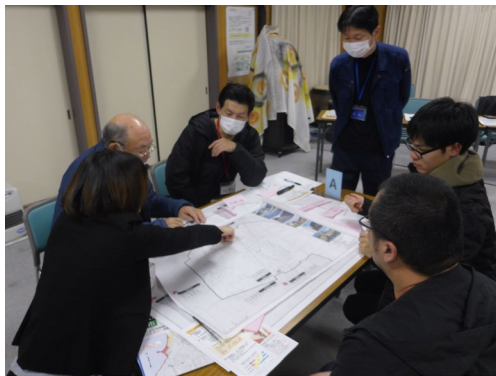
### ■第１回

【開催日】令和７年１月２５日（土） １８：００～１９：３０

【場所】兵庫会館

【参加者】町会長及び地区住民 計１１人

【議題】第１部 （現状把握）自分の身の回りを知る  
第２部 （現状把握）震災時の課題や困ったこと



ワークショップの様子

### 【主な意見（震災時の課題や困ったこと）】

| 項目     | 課題・困ったこと                                                                                                                                 | 項目       | 課題・困ったこと                                                                                                                                 |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 災害への備え | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発災時の対応がわからなかった</li> <li>・避難先がわからない</li> <li>・ハザードマップ等を確認していなかった</li> <li>・棚から食器等が落下した</li> </ul> | 被災後の生活   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガソリンの給油制限</li> <li>・子供がトラウマになってしまい、心のケアが心配だった</li> </ul>                                         |
| 避難     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高台への道が渋滞していた</li> <li>・近所に声かけする余裕がなかった</li> </ul>                                                | ハード整備    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道が使えない</li> <li>・住家被害が一部損壊のため、市は対応してくれない</li> <li>・瓦の落下やブロック塀の倒壊が不安</li> </ul>                |
| 避難所    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、公民館の中に入れない</li> <li>・物資、備蓄の不足</li> <li>・学校のトイレ問題</li> </ul>                                  | ・復旧      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫会館、兵庫神社等が被害にあった</li> <li>・道路の通行に問題がある</li> <li>・七尾線の復旧に時間がかかった</li> <li>・長者川の土手が崩れる</li> </ul> |
| 情報     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災無線が聞き取りにくい</li> <li>・電話がつながりにくかった</li> <li>・安否確認</li> <li>・給水所等の情報がわからなかった</li> </ul>          | 地域コミュニティ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・解体した後も兵庫町に住みたいが、空き家等、住む家が確保できないので住めない</li> </ul>                                                 |

## ■第2回

【開催日】令和7年2月22日（土） 18：30～20：15

【場所】兵庫会館

【参加者】町会長及び地区住民 計11人

【議題】第3部 （対応協議）課題ごとに対策を考える

第4部 （将来展望）地区の将来像を考える



ワークショップの様子

### 【地区の将来像案】

フレーズ：安全で楽しく皆が繋がれる兵庫町！／

常に備え、助け合い、声かけしあう安心なまち兵庫町／

あいさつが返ってくるまち兵庫町

キーワード：安心して生活できるまちづくり／コミュニケーション／安全安心

### 【主な対策】

|    |       |                                                                  |
|----|-------|------------------------------------------------------------------|
| 自助 | 最重要対策 | 食料・水の備蓄／簡易トイレの準備／<br>近所とのコミュニケーション強化                             |
|    | 重要対策  | 避難等の情報を大きな声で近所に伝える／自家水道の情報収集／<br>3日分以上の備蓄準備                      |
| 共助 | 最重要対策 | 結ネットの導入／定期的な備蓄品の確認／防災訓練の実施                                       |
|    | 重要対策  | 家屋の被害を受けた方への空き家情報の提供／<br>町の予備費を準備（会館や神社の修繕用等）／<br>近所、町会での連絡体制の整備 |
| 公助 | 最重要対策 | ハード整備の県への要望／避難所の解錠担当者の決定／<br>公民館の建設／避難所の一本化                      |
|    | 重要対策  | 避難所の自動解錠システム導入／防災無線の個別受信機整備／<br>SNSによる情報発信（高齢者への対応が必要）           |